

## 【1 文化芸術を鑑賞・参加・創造する環境づくり】

～あらゆる人々が文化芸術を享受するために～

文化芸術活動の機会を提供し、文化芸術活動の裾野を広げることで、文化芸術の創造活動が盛んになることが期待されます。そして、活動が継続され、発展していくことで、その活動が地域の文化資源となり、宝となります。

文化芸術活動を行う人々の自主性や創造性が十分尊重されるとともに、いつでもどこでもだれでも等しく文化芸術にふれ親しみ、鑑賞し、参加し、創造することができるよう、様々な機会を提供していきます。

特に、子どもたちや高齢者及び障害者等が、文化芸術にふれ親しむことができるような機会の充実を図っていきます。

### <施策の展開と主な取組>

#### ①県民の自主的な文化芸術活動の促進

県は、県民自らが主体的に文化芸術活動に取り組めるように、「千葉・県民芸術祭」など、文化芸術団体が行う事業に、県民の一層の参加を促すとともに、文化施設を、県民による自主的な文化芸術活動の場として活用していきます。

また、こうした文化芸術活動に関連する情報を、県ホームページなどを通じて提供します。

##### ○県民が文化芸術活動に参加できる場づくり

県と文化芸術団体との共催で開催する「千葉・県民芸術祭」、文化施設が開催する催しものなど、県民が文化芸術活動に積極的に参加できる場をつくります。

##### ○文化施設における県民参加型事業の推進

県民による文化芸術の活性化や文化芸術活動のすそ野拡大のため、文化施設を発表や練習、講座やワークショップ、展覧会等、文化芸術活動の場として活用していきます。

##### ○文化芸術活動に関する情報の収集・提供

市町村や文化芸術団体等と連携して県内各地の文化芸術活動の情報を収集し、県ホームページ「ちば文化交流ボックス」や県広報紙「ちば県民だより」など、様々な媒体を利用して、県民が参加できる各地の文化芸術活動や行事などを紹介します。

#### ②様々な場における文化芸術にふれ親しむ機会の提供

多くの県民が優れた文化芸術を鑑賞できる機会を充実させるため、芸術家や文化芸術団体と連携して、文化施設において質の高い演奏会や展覧会等を実施します。

また、文化芸術にふれ親しむ機会を広げるため、文化施設以外の様々な場でも気軽に文化芸術にふれ親しむことができるような機会の提供を図るとともに、県ホームページなどで文化芸術に関する情報提供を行います。

さらに、様々な場面を通じ、県民・子どもたちが優れた出版物にふれ親しむ機会を提供します。

## ○文化施設における質の高い公演や展覧会等の充実

文化会館等での国内外の著名なアーティストによる公演やニューフィルハーモニーオーケストラ千葉が出演する「県民芸術劇場公演」、美術館や博物館での魅力ある展覧会などの催しを行います。

## ○文化施設以外での公演等の鑑賞の機会の提供

様々な場において文化芸術にふれ親しむことができるよう、市町村や文化芸術団体等と連携を図りながら、文化施設に限らず、公演や展覧会などの機会を提供します。

## ○公演や展覧会等に関する情報提供

公演や展覧会等の情報を、県ホームページなどの媒体を活用して提供します。

## ○「読書県『ちば』」の推進

図書館や学校等における読書環境を整備し、読書に親しむ機会の充実を図ります。

## ③子どもたちの文化芸術活動の充実

次代を担う子どもや若者に対し、優れた芸術作品や郷土芸能など、多彩な文化芸術にふれ親しむ機会を提供することによって、豊かな心と感受性をはぐくむとともに、文化芸術に対する興味や関心を育てます。

小・中学校をはじめとする学校教育の場で、多彩な文化芸術にふれる機会の充実を図るため、音楽鑑賞教室やワークショップなど、質の高い文化芸術にふれる機会を提供するとともに、専門家による指導を受ける機会を設けて、知識や技術の向上を図ります。

また、「読書県『ちば』」としての機運を高めていくため、学校等における読書活動を推進します。

## ○子どもたちが文化芸術にふれ親しむ機会の提供

子どもたちに対し、その発達段階に応じて、文化芸術団体や文化施設と連携しながら、優れた芸術の鑑賞機会を提供し、感性や創造性をはぐくみます。

## ○学校教育における文化芸術活動の充実

芸術科目や専門高校に設置されているデザイン系の科目等に係る授業を通じ、子どもたちに文化芸術についての知識・技能を培います。

ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉を活用した学校での音楽鑑賞教室、美術館による実技講座・ワークショップ等、文化芸術団体による伝統芸能体験事業などを通じ、文化芸術の鑑賞や体験演奏などの表現方法の指導を、学校の授業や行事の中で行います。

学校の部活動等では、児童生徒による文化活動が盛んに行われています。その活動の向上発展を図るため、芸術家や文化芸術団体等と協力して児童・生徒が指導を受ける機会を設けるとともに、高等学校総合文化祭の支援等を行います。

また、学校図書館の蔵書を充実するなど、学校での読書活動を一層進めていきます。

## ○発掘で出土した文化財の学校等と連携した活用

出土した文化財を用いた学習キットを作成し、小学校に配付します。

## ○子どもたちの文化芸術活動への支援

広く子どもたちが文化芸術にふれ親しむ機会を提供するとともに、国内外で活躍して

いる千葉県少年少女オーケストラの活動を支援するなど、文化芸術活動に取り組む子どもたちの中から次代を担い、世界で活躍する芸術家が育つような環境づくりに取り組みます。

#### ④高齢者・障害者等の文化芸術活動の充実

高齢者や障害者、子育て中の保護者等が文化芸術に親しみ、自ら文化芸術活動を楽しめるよう、福祉分野等との連携を図りながら、文化芸術の鑑賞機会の充実や発表の場の提供、講座やワークショップなど文化芸術活動に積極的に参加できる場づくりに努めます。

##### ○高齢者や障害者等を対象とした文化事業の実施

文化芸術団体によるアウトリーチ活動など、高齢者や障害者等が文化芸術にふれる機会の充実を図るとともに、自ら参加したり、創造する場づくりに努めます。

##### ○障害の有無にかかわらず文化芸術活動に参加できる場づくり

県民自らが障害の有無にかかわらず主体的に文化活動ができるよう、文化施設等と連携し、機会の提供を図ります。

#### <成果指標>

目標項目	現状 (平成 22 年度)	目標 (平成 32 年度)
文化会館・美術館・博物館の入館者数	約 330 万人	増加を目指す
学校における文化芸術活動の取組事例	学校における取組事例を収集・公表します。(定性)	